



2019年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月7日

上場会社名 カネコ種苗株式会社

上場取引所 東

コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務部長 (氏名) 長谷 浩克

TEL 027-251-1619

四半期報告書提出予定日 2019年1月11日

配当支払開始予定日

2019年2月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第2四半期の連結業績(2018年6月1日～2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年5月期第2四半期 | 25,141 | 0.9 | 351 | 26.0 | 393 | 16.0 | 258 | 33.6 |
| 2018年5月期第2四半期 | 24,923 | 4.3 | 278 | 11.7 | 338 | 3.6 | 193 | 18.4 |

(注) 包括利益 2019年5月期第2四半期 373百万円 (2.3%) 2018年5月期第2四半期 381百万円 (3.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年5月期第2四半期 | 22.06 | |
| 2018年5月期第2四半期 | 16.51 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年5月期第2四半期 | 35,284 | 18,918 | 53.6 | 1,611.57 |
| 2018年5月期 | 44,995 | 18,722 | 41.6 | 1,594.79 |

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 18,918百万円 2018年5月期 18,722百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年5月期 | | 11.00 | | 15.00 | 26.00 |
| 2019年5月期 | | 11.00 | | | |
| 2019年5月期(予想) | | | | 15.00 | 26.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 60,000 | 1.5 | 1,900 | 8.7 | 2,000 | 5.7 | 1,400 | 43.1 | 119.25 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2019年5月期2Q | 11,772,626 株 | 2018年5月期 | 11,772,626 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|----------|----------|----------|
| 2019年5月期2Q | 33,193 株 | 2018年5月期 | 32,522 株 |
|------------|----------|----------|----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2019年5月期2Q | 11,739,828 株 | 2018年5月期2Q | 11,740,911 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年5月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年6月1日～2018年11月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な企業収益など明るさは継続している一方、米中貿易摩擦問題や海外経済の不確実性によりもたらされる日本経済へのマイナス影響が、懸念されるところとなっております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、夏場は猛暑や台風などの天候不順による農作物の作柄不良、秋以降は好天に恵まれ野菜の生育が前倒しで進み、出荷量増加が青果安につながるなど、目まぐるしく状況が変化いたしました。

このような状況のなか当社グループの業績は、花き事業及び種苗事業の販売が低迷したものの、施設材事業・農材事業で堅調に推移したことなどから、売上高251億41百万円で前年同期比2億17百万円（0.9%）の増収となり、利益面でも、営業利益3億51百万円で前年同期比72百万円（26.0%）増、経常利益3億93百万円で前年同期比54百万円（16.0%）増、親会社株主に帰属する四半期純利益2億58百万円で前年同期比65百万円（33.6%）増となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメント区分及び費用の配賦方法を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報） II 当第2四半期連結累計期間 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

種苗事業

種苗事業においては、牧草種子関係で九州地方を中心にイタリアンライグラスの販売増などがあったものの、野菜種子関係でカボチャやキャベツの輸出が販売時期のズレ等により減収となったほか、今期より種苗事業に統合した造園関係の受注減により、売上高36億9百万円で前年同期比4.3%減収となりました。利益面でも、人件費や種子検査費用等の増加により、セグメント利益4億71百万円で前年同期比9.4%減となりました。

花き事業

花き事業においては、プランター等の家庭園芸資材の需要低迷や、販売先の園芸事業からの撤退、大手チェーン店の統合に伴い販売ルートが他社へ移るなどして、売上高29億97百万円で前年同期比9.5%減収となり、利益面でも、セグメント損失1億47百万円（前年同期のセグメント損失は1億4百万円）で損失は拡大いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント利益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

農材事業

農材事業においては、猛暑により害虫の発生が少なかったことから殺虫剤の販売が低迷したものの、土壌消毒剤や新規薬剤の拡販により、売上高111億49百万円で前年同期比1.9%増収となりました。利益面では、物流経費の増加があったものの採算性の良化等により、セグメント利益1億26百万円で前年同期比76.0%増となりました。

施設材事業

施設材事業においては、度重なる台風により被害を受けた農業用施設の復旧需要や、猛暑による遮光・灌水資材の販売増、養液栽培プラント関係においても、輸出や太陽光発電併設プラント、閉鎖型植物工場の大型物件を完工できたことなど堅調に推移し、売上高73億84百万円で前年同期比7.1%増収となり、利益面でも、セグメント利益2億51百万円で前年同期比64.4%増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、352億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して97億11百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、163億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して99億7百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

なお、上記「資産の部」と「負債の部」の状況は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、毎期同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、189億18百万円となり、前連結会計年度末と比較して微増となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して7億34百万円減少し、41億76百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、18億27百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

これは主に、仕入債務の減少額115億91百万円が、売上債権の減少額88億46百万円及びたな卸資産の減少額6億89百万円を上回ったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、3億13百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得により3億15百万円支出したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、14億4百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

これは主に、営業活動により使用した資金を、短期借入金で調達したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年（平成30年）7月13日の「平成30年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2018年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,244,625 | 4,510,301 |
| 受取手形及び売掛金 | 22,369,028 | 13,553,905 |
| 商品 | 7,169,573 | 6,395,937 |
| その他 | 1,543,912 | 1,867,829 |
| 貸倒引当金 | △22,081 | △13,081 |
| 流動資産合計 | 36,305,059 | 26,314,892 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 3,896,134 | 3,927,953 |
| その他(純額) | 2,034,677 | 2,207,088 |
| 有形固定資産合計 | 5,930,811 | 6,135,042 |
| 無形固定資産 | 65,344 | 56,712 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,702,015 | 2,785,014 |
| 貸倒引当金 | △7,292 | △7,134 |
| 投資その他の資産合計 | 2,694,723 | 2,777,880 |
| 固定資産合計 | 8,690,879 | 8,969,634 |
| 資産合計 | 44,995,938 | 35,284,527 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 23,137,706 | 11,871,893 |
| 短期借入金 | — | 1,600,000 |
| 未払法人税等 | 298,728 | 148,394 |
| その他 | 1,129,979 | 1,026,609 |
| 流動負債合計 | 24,566,413 | 14,646,896 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 1,465,812 | 1,477,401 |
| 役員退職慰労引当金 | 120,875 | 108,125 |
| その他 | 119,890 | 133,141 |
| 固定負債合計 | 1,706,578 | 1,718,668 |
| 負債合計 | 26,272,992 | 16,365,565 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,491,267 | 1,491,267 |
| 資本剰余金 | 1,765,221 | 1,765,221 |
| 利益剰余金 | 14,831,844 | 14,914,725 |
| 自己株式 | △23,044 | △24,089 |
| 株主資本合計 | 18,065,288 | 18,147,124 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 857,119 | 948,642 |
| 為替換算調整勘定 | △52,912 | △46,334 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △146,549 | △130,470 |
| その他の包括利益累計額合計 | 657,657 | 771,838 |
| 純資産合計 | 18,722,946 | 18,918,962 |
| 負債純資産合計 | 44,995,938 | 35,284,527 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 24,923,915 | 25,141,214 |
| 売上原価 | 21,009,707 | 21,079,987 |
| 売上総利益 | 3,914,208 | 4,061,227 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,635,548 | 3,710,173 |
| 営業利益 | 278,659 | 351,054 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 16,407 | 17,527 |
| 受取家賃 | 30,746 | 30,618 |
| 受取保険金 | 17,403 | — |
| その他 | 8,948 | 13,796 |
| 営業外収益合計 | 73,506 | 61,942 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,203 | 6,897 |
| 為替差損 | 5,758 | 11,962 |
| その他 | 482 | 1,108 |
| 営業外費用合計 | 13,444 | 19,968 |
| 経常利益 | 338,721 | 393,028 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 6 |
| 特別利益合計 | — | 6 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 40,933 | 7,867 |
| 投資有価証券売却損 | 3,375 | — |
| 特別損失合計 | 44,309 | 7,867 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 294,412 | 385,166 |
| 法人税等 | 100,554 | 126,184 |
| 四半期純利益 | 193,857 | 258,981 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 193,857 | 258,981 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 193,857 | 258,981 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 165,628 | 91,522 |
| 為替換算調整勘定 | △997 | 6,577 |
| 退職給付に係る調整額 | 23,277 | 16,079 |
| その他の包括利益合計 | 187,908 | 114,180 |
| 四半期包括利益 | 381,765 | 373,162 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 381,765 | 373,162 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日) |
|----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 294,412 | 385,166 |
| 減価償却費 | 105,439 | 121,808 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 8,918,292 | 8,846,022 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 829,909 | 689,296 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △11,284,090 | △11,591,368 |
| その他 | △189,049 | △72,976 |
| 小計 | △1,325,085 | △1,622,051 |
| 法人税等の支払額 | △314,378 | △214,934 |
| その他 | 26,932 | 9,309 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,612,531 | △1,827,676 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △342,770 | △315,264 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 14,973 | 92 |
| その他 | △13,898 | 2,133 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △341,695 | △313,039 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 1,660,000 | 1,598,402 |
| 配当金の支払額 | △169,727 | △185,353 |
| その他 | △7,258 | △8,734 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,483,013 | 1,404,314 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △333 | 2,077 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △471,546 | △734,323 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,369,089 | 4,911,125 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,897,542 | 4,176,801 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年6月1日至2017年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 種苗 事業 | 花き 事業 | 農材 事業 | 施設材 事業 | 合計 |
|-----------------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,772,349 | 3,311,056 | 10,943,286 | 6,897,224 | 24,923,915 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 18,364 | 188 | 341 | 1,110 | 20,003 |
| 計 | 3,790,713 | 3,311,244 | 10,943,627 | 6,898,334 | 24,943,918 |
| セグメント利益又は損失(△) | 520,313 | △104,458 | 72,058 | 152,989 | 640,904 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 640,904 |
| 全社費用(注) | △362,244 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 278,659 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 種苗 事業 | 花き 事業 | 農材 事業 | 施設材 事業 | 合計 |
|-----------------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,609,951 | 2,997,320 | 11,149,349 | 7,384,593 | 25,141,214 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 22,971 | 655 | — | 2,011 | 25,638 |
| 計 | 3,632,923 | 2,997,975 | 11,149,349 | 7,386,605 | 25,166,853 |
| セグメント利益又は損失(△) | 471,420 | △147,218 | 126,852 | 251,489 | 702,543 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 702,543 |
| 全社費用（注） | △351,489 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 351,054 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメント区分方法及び費用の配賦方法の見直し）

第1四半期連結会計期間より、緑化工事用種子販売と造園・法面工事等の緑化工事を一体的に考え、営業力向上を目的として、組織変更を行いました。これに伴い、管理区分の見直しを行い、「造園事業」を「種苗事業」に統合いたしました。

これを契機として、セグメント別の損益をより適切に反映させるため、これまで全社費用としていた一部の研究開発費等の一般管理費について、各事業セグメントに対する費用の配賦方法の見直しを行いました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、報告セグメントの新区分及び見直し後の配賦方法に基づいて作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。